

しずおかほっとリンク ~生きづらさを抱える方のための居場所~ の開設

1 要旨

- ・静岡市では、メンタル不調や社会的孤立などにより生きづらさを抱えながらも、既存の福祉制度だけでは支援につながりにくい方への対応が課題となっています。
- ・そこで、気軽に安心して過ごせる居場所として「しずおかほっとリンク」を開設し、心身の回復を支えるとともに、必要に応じて専門的な支援へつなげます。
- ・オンラインと対面の両方の場を設けることで、外出や相談に不安を感じる方も利用しやすく、孤立の予防や早期支援につなげます。

2 取組の背景

- ・「生きづらさ」とは、医学的な診断や障がいの有無にかかわらず、社会的要因や複合的課題によって日常生活や社会生活に困難を感じていることをいいます。
- ・生きづらさを抱える方を正確な実数で把握することは難しいのですが、国の様々な研究を本市の人口に当てはめると、市内には、メンタル不調や経済的困窮、ひきこもり、介護や子育てへの不安などにより、生きづらさを抱える方が数多く存在すると推計されています。
- ・こうした方々は複合的な課題を抱えることが多く、対人不安や支援を受けることへの抵抗感から、適切な支援につながりにくい状況があります。また、既存制度の対象になりにくいケースもあり、支援の狭間に取り残されることが課題となっています。
- ・このため本市では、課題が深刻化する前に本人とつながり、見守りや専門支援につなげる仕組みとして、生きづらさを抱える方のための居場所を開設します。

3 事業概要

事業を企画する上で、利用者にとってどんな場であることが望ましいか、次のようにコンセプトをまとめました。

①心理的安全性が担保された「安全基地」

(他者の目を気にすることなく「そこに居るだけでいい」が保障された環境を提供)

②交流を通じた心身のエネルギー回復の場

(スタッフや他利用者との緩やかな交流、共感し合える体験を通じて、心身の回復を促進)

③早期発見・早期支援の機会につながるセーフティネット

(利用者の課題が重症化・複雑困難化する前に関わり、必要に応じ適切な支援へとつなぐ)

コンセプトをまとめたうえで、場の名称を「しずおかほっとリンク」としました。

○名称:「しずおかほっとリンク」~ネットでもリアルでも、ゆるやかにつながる~

※「しずおか」は地域とのつながりを、「ほっと」は安心感を、「リンク」は人や支援とのつながりを表しています。安心できる居場所と必要な支援をゆるやかにつなぐ拠点となることを目指しています。

○対象者:市内在住または市内に通勤・通学し、メンタル不調などにより生きづらさを感じている方(医学的な診断や障がいの有無は問いません)

○内容:

①オンラインの場合(2026年7月17日開設)

- ・利用者はアバターを選び、メタバース空間で自由に過ごすことができます。他の利用者やスタッフとチャットでの交流やレクリエーションに参加できるほか、一人で静かに過ごすこともできます。

開設日時…月曜・金曜:15時から21時まで、土曜・日曜:13時から18時まで
 スタッフ2人(専門職1人以上) 1日平均 10 人程度利用を想定

(URL: <https://shizu-coco.net/ibasho/>)



②対面の場合(2026年8月開始)

- ・オンラインの場合と同様、利用者同士やスタッフとの交流、レクリエーションなどを通じて安心できる居場所を提供します。
- ・また、オンラインの場合から対面による支援へつなげる役割も担います。

開設日時:各区月1回ずつ 13時30分から16時30分まで

スタッフ2人(専門職1人以上) 1日平均 10 人程度利用を想定

葵区(第3木曜日):アイセル21(葵区西草深町 3-18)

駿河区(第2木曜日):みなくる(駿河区南八幡町 3-1)

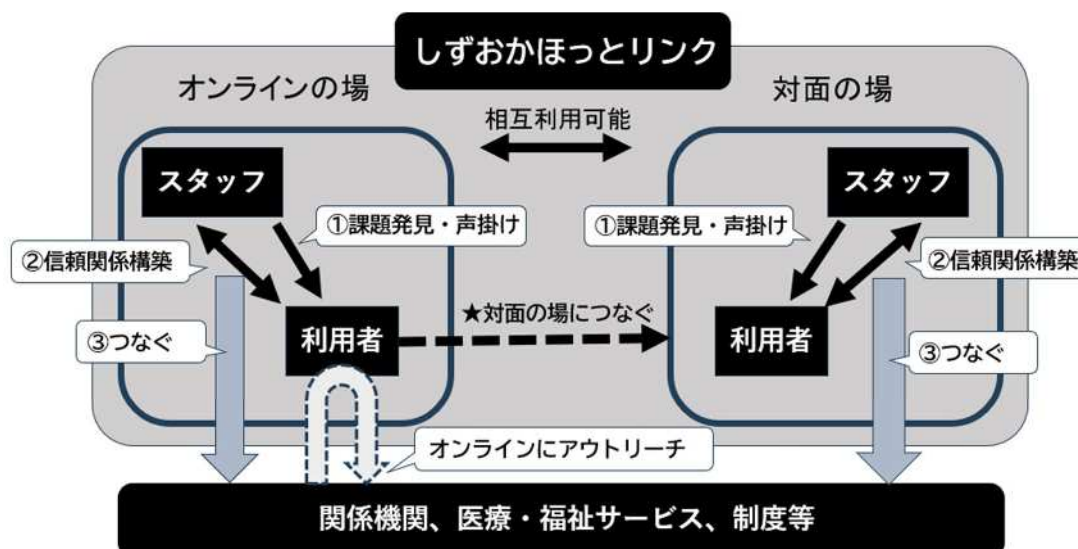
清水区(第4木曜日):清水テルサ(清水区島崎町 223)

<利用にあたって>

- ・参加費用は無料です。オンラインによる利用登録をお願いします。
- ・利用登録にあたり、ニックネーム・メールアドレスをご用意ください。

○スタッフについて

- ・しずおかほっとリンクでは、福祉職や看護職の有資格者のほか、これらの資格取得を目指す学生や、福祉関係の支援業務の経験を持つ方々の複数人のスタッフが、利用者をサポートし、オンラインの場合や対面の場合を管理運営します。スタッフの役割は、次の図のとおりです。



【スタッフの役割】

- ①フロア内を巡回して、課題や問題を抱えている利用者気づいたら、声を掛ける。
 - ②利用者と信頼関係を構築するために交流する。
 - ③スタッフは関係機関と連携し、関係機関はオンラインの場合に出向き、必要なサポート(医療・福祉サービス等)に誘導する。
- ★利用者信頼関係を構築しながら、対面の場に誘導する。

○メタバースについて

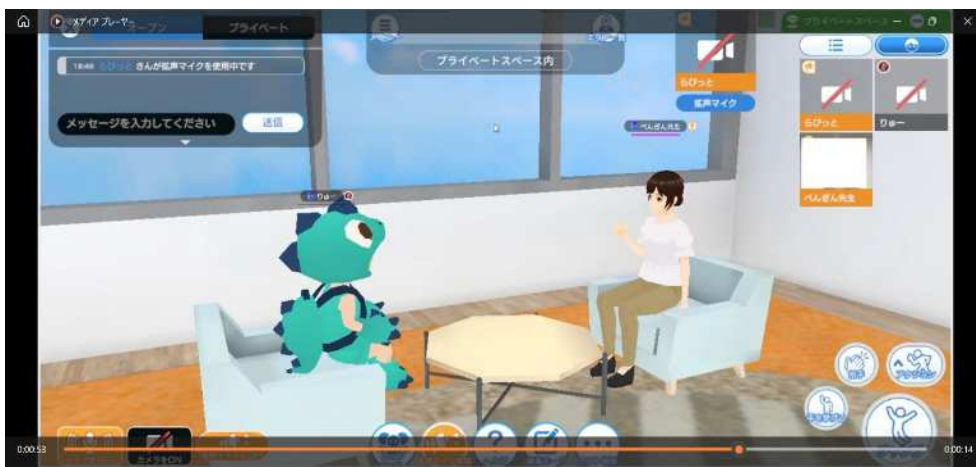
メタバースのイメージは次のとおりです。



「選べるアバターは全部で 38 種です」



「誰かと話をして、しなくても。自由に過ごしていただけます」



「専門のスタッフがお話を聞くこともできます」

「話した内容は部屋の外には伝わらないので、安心してお話できます」

4 しずおかほっとリンクの特徴

- ・本事業は、利用者にとって望ましい居場所の在り方を検証しながら、本格実施につなげるため、メンタルヘルス支援やウェルビーイングに関する研究実績を有する静岡福祉大学との共同研究として実施し、その専門的知見を事業運営に活用します。
- ・実証的な運用を通じて、利用しやすい開設時間や支援につながる仕組みを検証し、より効果的な運営方法の確立を目指します。

5 今後の展開

- ・静岡福祉大学との共同研究を通じて、オンラインや対面による居場所の効果を検証するとともに、利用者の状況や利用傾向、支援につながるまでの過程などを把握します。
- ・その成果を踏まえ、開設頻度や運営体制、関係機関との連携手法を確立し、本格実施につなげます。

【担当】

保健福祉長寿局 安心感がある温かい社会推進課
電話:054-221-1582